



平成27年度総会資料



と き 平成27年6月16日(火) 13時30分
ところ 松阪農業公園ベルファーム
レクチャールーム
(松阪市伊勢寺町 551-3)

三重の畜産女性の会 サン・カラット

所在地 津市桜橋1丁目649番地 農業共済会館
事務局 一般社団法人 三重県畜産協会
電話 059-213-7512 FAX 059-221-0109
E-Mail info@mie.lin.gr.jp

平成 26 年度事業報告

平成 26 年度も畜産業界では、飼料価格は引き続き高止まり状態でした。畜産を取り巻く状況は、いつも厳しい厳しいと聞かされることに慣れてしまい、鈍感になってしまった感もあります。円相場やアジア諸国への飼料原料の流れをみても我が国の畜産物生産コストには明るい材料が少ないようです。加えて近隣諸国での家畜疾病の発生が頻発し、なかなか終息していません。

しかし、こういった現実の中ではあるもののサン・カラット仲間の中では、発足以降嬉しいニュースをいくつも耳にできました。会員の結婚であったり、赤ちゃんの誕生であったり、お孫さんの成長だったり、就農した後継者の頼もしい活動であったり、思わずニコリとできるお話が出てきています。日頃の疲れも癒されるのではないのでしょうか。仲間であるからこそ、一緒に喜べる気持ちを持ちながら今日に至ることができました。

平成 26 年度も前年度に引き続き同様の活動を展開しました。積極的な姿勢で農林水産業に就いている方のお話を聞いたり、地域を元気にしようとする人柄に惹かれたりしながら、自分たちの身に置き換え、その姿勢を自分の中で育てていけるように心がけてきました。その結果がダイレクトに現れたとは言い難いのかもかもしれませんが、昔の自分たちと比べてみれば、少しだけその進歩が確認できるように感じています。

1 総 会

とき：平成 26 年 9 月 5 日（金）

ところ：松阪農業公園ベルファーム（松阪市）

出席者数：総数 23 名（うち会員 11 名）

協議内容：平成 25 年度事業実績、収支決算の報告
平成 26 年度事業計画、収支予算の提案

代表世話人の小林さんから「今回の総会は豚流行性下痢の発生により開催を遅らせました。やっと沈静化しましたが、今後も成り行きを見守る必要があります。

サン・カラットの目的のひとつは、女性の視点からの畜産振興です。今後も変わらず、さらに相互の連携や結束力を強めたいと思います」と挨拶がありました。

来賓として出席いただいた県畜産課西口課長補佐からは、「県も施策として女性の支援をしていく方針である。」との挨拶をいただきました。



2 研修会・交流会等の開催・参加

1) サン・カラット研修会（総会と同日開催）

農林水産業という幅広い中から林業への就農を選択し、10年 100 年単位の仕事に生きがいを感じるという堀内楓子さんのお話を聞きました。山を知り、山を育てていくには体力



も必要ですが、先人たちの知識を基に、新しい仲間と共に元気よく歩んでみえるようすをうかがうことができました。

2) みえ・花しょうぶサミットへ参加

とき：平成26年8月8日（金）

ところ：JA三重ビル大会議室（津市）

今回、サン・カラットは「特別参加」を認めていただき、代表として世話人補佐の江尻さんと会計担当世話人の竹内さんが参加しました。参加のお二人からは、「商工会他、農業関係団体等の女性部が集い、交流を深め、各団体の目的達成、ひいては三重県の産業振興につなげることを趣旨としたサミットであり、どの業界でも「女性らしさ」と「女性ならでは」が経営を支えていることを認識できた。」との感想がありました。



3) 第27回農山漁村のつどい

とき：平成27年2月13日（金）

ところ：三重県総合文化センター（津市）

開催テーマを「魅せつけよう！農山漁村の底力」として開催されました。

人間幸学研究所の和田講師からは、農山漁村のよさを活かした地域づくりや男女ともが輝ける新しい農山漁村を作るためのメッセージがありました。

県内の地域おこしの事例では、鳥羽市答志島の「島の旅社」の活動が報告され、この発表をきっかけにサン・カラット会員が研修として訪問することになりました。

恒例となっている自慢の生産物販売では、サン・カラットを代表して津市久居の大西畜産の「頑固おやじのぶた」を販売しました。



4) 鳥羽市答志島の地域おこし事例を研修

とき：平成27年3月13日（金）

ところ：鳥羽市答志島（和具、答志地区）

農山漁村のつどいで元気いっぱいの地域づくりのお話をきかせていただいた「島の旅社」の活動の一端を体験しました。

なにもないとあきらめず島の風土や歴史、生活習慣や生活環境の中から古くて新しい観光資源を見つけ出し、小学生や観光客を呼び込むことに成功した取組みについて現地を散策しながら研修しました。



3 会員間の情報交換、活動内容の広報等

1) 会員誌の発行

①サン・カラット通信第 23 号（平成 26 年 10 月発行）

- ・総会・研修会を開催
- ・研修会はWOOD JOB!?
- ・養豚女性研修会のご案内
- ・みえ・花しょうぶサミットへ参加
- ・ご結婚おめでとう
- ・全国畜産縦断いきいきネットワーク 10 周年大会

②サン・カラット通信第 24 号（平成 27 年 3 月発行）

- ・第 27 回農山漁村のつどいに参加
- ・サンデノソコでワイワイワイ
- ・島の旅社が企画する豊かな体験活動
- ・今回の研修会へ出席できなかった方からのメッセージ
- ・第 1 回たまごニコニコ料理甲子園三重県大会の最優秀賞決定



2) ホームページからの情報発信

三重県畜産協会のホームページ「三重の畜産広場」内のサン・カラットのサイトでは、会の紹介、会員募集、活動状況等を広報しました。

サン・カラット URL <http://mie.lin.gr.jp/san/>



4 会の運営等の活動・その他

1) 世話人会の開催

とき：平成 26 年 7 月 9 日（水）

ところ：三重県教育文化会館

出席者：サン・カラット世話人 4 名、J A 三重中央会女性部担当 1 名、県畜産課 1 名、畜産協会 2 名

協議内容：平成 25 年度実績、平成 26 年度活動計画等

※この会議は、三重県畜産協会の畜産関係団体調整機能強化事業の一環として開催しました。

2) 全国畜産縦断いきいきネットワーク全国大会

とき：平成 26 年 8 月 27 日（水）

ところ：日比谷コンベンションホール（東京都千代田区）

今回は発足 10 周年を記念してメインテーマ「ともに深めた絆を胸に、さらに 20 周年に向けて羽ばたこう！」の下に開催されました。



10年間を振り返り、初代の会長以下への感謝と慰労の気持ちを伝えたり、恒例の寸劇にうなずいたり笑ったりという一日になりました。

また、各県の女性ネットワークの活動報告では、三重県からもサン・カラットの活動について報告しました。

3) 養豚協会女性研修会への参加

とき：平成26年11月11日（火）

ところ：三重県総合文化センター（津市）

三重県養豚協会主催の研修会開催に当たり、サン・カラットへもお誘いをいただき、アテネ五輪デュエットで銀メダルに輝いたシンクロスイマー武田美保さんのお話を聞きました。

トップアスリートとしての人生には、技術力の向上だけでなく、お母さんや家族の温かいサポート、励ましが大切であったとのお話でした。



三重の畜産女性の会

サン・カラットへのお誘い

三重の畜産に携わる人、興味のある人、畜種を越えて集いましょう。
一人ひとり小さな力でも、
仲間がたくさん集まれば、それはひとつの大きな力になるでしょう。
なにか、新しい芽を皆で育ててみませんか。

- 1 会員相互の交流を深めましょう。情報の交換も積極的に！
- 2 経営向上のために研修の機会をもちましょう。
- 3 消費者の皆さんに畜産や畜産物についての理解を深めてもらいましょう。
- 4 将来の経営のためにいろいろな課題について語り合いましょう。
- 5 会員の意見による活動を進めましょう

・・・他にも取り組みたい活動イロイロ！

皆でまず一歩！これがスタートです。

5 平成 26 年度収支報告

三重の畜産女性の会サン・カラット 平成 26 年度収支計算書

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

1) 収入の部

科 目	予算額①	決算額②	差異①-②	備 考
会費	170,000	155,000	15,000	5,000 円×31 名
寄付金	0	0	0	
特別事業費	30,000	34,500	△4,500	食事会 4,500 円、研修会 30,000 円
雑収入	50	48	2	預金利息 48 円
当期収入合計(A)	200,050	189,548	10,502	
前期繰越収支差額	230,753	230,753	0	
収入合計(B)	430,803	420,301	10,502	

2) 支出の部

科 目	予算額①	決算額②	差異①-②	備 考
特別事業費	154,000	71,880	82,120	表外※1 参照
会議費	600	0	600	
会場費	4,000	0	4,000	
旅費交通費	10,000	6,620	3,380	事務局延べ 3 回
通信運搬費	15,540	3,927	11,613	振込代 648 円、切手代 3,279 円
消耗品費	6,000	6,000	0	事務消耗品費 6,000 円
印刷製本費	10,000	6,400	3,600	コピー代金 1,600 枚
賃金	51,600	50,470	1,130	事務局 7 日分
事務諸経費	4,800	0	4,800	
雑費	5,000	0	5,000	
当期支出合計(C)	261,540	145,297	116,243	
当期収支差額 (A)-(C)	△61,490	44,251	△105,741	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	169,263	275,004	△105,741	



※1 特別事業費 (71,880 円) の内訳

会議費 29,680 円 花しょうぶサミット 1,000 円、総会昼食 22,680 円
農産漁村のつどい 6,000 円

研修会費 42,200 円 研修先負担金 30,000 円 定期船代 12,200 円

※参照：畜産協会事業「畜産関係団体調整機能強化事業」からの支援

世話人会開催費用 15,858 円 旅費、会場費等

研修会開催費用 45,202 円 講師旅費、謝金、会議費、会場借料、通信運搬費

その他費用 19,964 円 通信運搬費、消耗品費等

三重の畜産女性の会サン・カラット規約第 14 条により上記のとおりご報告します。

平成 27 年度事業計画（案）

諸外国では畜産経営に大きな打撃を与えるような疾病の発生が続いています。

近隣諸外国の畜産現場は、我が国とは異なる文化の上に成り立っていることを理解しつつも、グローバル化が進む中で平然とした態度で接することはできません。農水省では、人の移動が盛んな時季には、疾病対策を更に強化するよう注意喚起を呼びかけることが恒例になっています。平成 26 年度に発生した豚流行性下痢は再発もあり、完全に終息したとは言えない状態です。高病原性鳥インフルエンザも目に見えない脅威であり、心の安らぐものではありません。

疾病の発生は、農場そのものへの損害を与える一方で、消費者の買い控えといった面にもその影響が現れてきます。私たち女性陣は、男性に比べると畜舎に入って作業をすることは少ないかもしれませんが、高い意識を持ちながら防疫に取り組まなければなりません。また、生産物の安全性について情報発信することも重要な役割だと感じます。

東日本大震災以降「絆」という言葉に接する機会が多くなったように感じます。三重の畜産女性の会サン・カラットは、平成 18 年 11 月 13 日に誕生しました。いろいろな活動を進めてきましたが、根底には「絆」という気持ちがあったと思います。女性としての畜産スキルアップも必要ですが、仲間同士で手を取り合っていこうという心を今後も持ち続けたいと思います。

1 研修、会員相互の交流等の活動

毎日、畜産現場で活躍しているのに「今更、研修？」と思われるかもしれませんが、現場経験のある人は、自分の体験と照らし合わせて学ぶことができるのではないのでしょうか。こういった場面で出会う研修は、モヤッとした悩みを解決してくれたり、自信をつけてくれるものになります。

求めるテーマで研修会が開催されることは少ないかもしれませんが、せっかく目の前に止まったバスがあれば、乗り込んでみましょう。新しい発見もあるはずです。

今年度の研修会は全国畜産縦断いきいきネットワークとの共催を予定しています。

1) 総会

とき：平成 27 年 6 月 16 日（火）

ところ：松阪農業公園ベルファーム

平成 26 年度事業実績の報告、平成 27 年度事業計画の提案



2) 研修会

とき：平成 27 年 11 月 9 日（月）、10 日（火）

ところ：県内北勢地域

内容：全国畜産縦断いきいきネットワークが開催する研修会との共同開催

3) 農山漁村のつどい

とき：平成 28 年 2 月

ところ：三重県総合文化会館

4) 交流会（料理講習会）

内容：他の業界で活動する女性グループとの料理交流

5) 全国畜産縦断いきいきネットワーク大会

とき：平成 27 年 8 月 27 日（木）

ところ：中野サンプラザ（東京都中野区）



2 情報発信・情報交換による交流

サン・カラット活動の中で、会員同士が直接顔を合わせる機会といえば、年に何度か開催するイベントなど回数も限られます。また、都合によりなかなか参加いただけない場合も散見されます。

一方、自分たちの活動を会員以外の皆さんに知ってもらうためにも情報の発信をしています。

1) 会員誌の発行

掲載内容の主な部分は、活動状況の報告となっていますが、参加いただいた会員の感想なども掲載するようにしています。

楽しそうな話題を耳にすれば、寄稿もお願いしています。ふだん文章を書く機会がそれほど多くないかもしれませんが、事務局から寄稿の依頼があれば一念発起してご協力をお願いします。

会員の皆さんからの寄稿が会員誌を豊かな内容にしてくれると思います。

「あなた」をお願いしますヨ。

2) ホームページによる情報発信

活動状況を中心に掲載する関係上、会員誌の内容と重複しますが、ホームページ「三重の畜産広場」の一角から情報発信をします。



3) その他の情報提供

皆さんの周りで起きたニュースやイベント開催予定などをお知らせ下さい。

他のグループ、趣味の会などの活動に参加されている場合も、「見に来てください」「集まってください」といった情報を提供して下さい。

サン・カラット以外で活躍する姿を教えてください。

3 畜産物の消費拡大へ向けての活動

飼料費を始め生産資材の高騰は生産コストを上げ経営収支を厳しいものしています。こういった状況に立ち向かうために、女性の視点から消費者へアプローチしてみようではありませんか。食べ物に興味をもったり関わったりすることが多い女性ならではの情報発信や活動を展開していきましょう。

4 その他会の運営に必要な活動

サン・カラットの運営については、少しでも有意義な活動が展開できるように世話人会で検討協議していますが、ぜひ皆さんのご意見をお聞かせ下さい。

また、行動の範囲を広げるためにも、全国組織の「全国畜産縦断いきいきネットワーク」にも目を向けてみて下さい。

今年度は特別な活動として、いきいきの仲間を当地に迎えて研修会を開催する計画もあります。この研修会は、サン・カラット活動との共同開催でもありますので、ぜひとも参加をお願いします。



5 平成 27 年度収支予算

三重の畜産女性の会サン・カラット 平成 27 年度収支予算 (案)

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

1) 収入の部

科 目	予算額①	前年度 予算額②	差異①-②	備 考
会費	165,000	170,000	△5,000	会費 5,000 円×33 名
寄付金	0	0	0	
特別事業費	30,000	30,000	0	参加費 1,000 円×20 人×1 回 材料費負担 500 円×20 人×1 回
雑収入	50	50	0	預金利息
当期収入合計(A)	195,050	200,050	△5,000	
前期繰越収支差額	275,004	230,753	△44,251	
収入合計(B)	470,054	430,803	△39,251	

*サン・カラット会員の年会費は 5,000 円とする。納入は 7 月末日までをお願いします。

振込先 銀行名 三重県信用農業協同組合連合会本店

口座名義 三重の畜産女性の会

口座種別 普通預金 口座番号 0003584

2) 支出の部

科 目	予算額①	前年度 予算額②	差異①-②	備 考
特別事業費	142,840	154,000	△11,160	表下※1 参照
会議費	600	600	0	100 円×6 人×1 回
会場費	4,000	4,000	0	世話人会
旅費交通費	10,000	10,000	0	事務局延べ 4 人
通信運搬費	14,860	15,540	△680	会報等郵送料、振込手数料
消耗品費	6,000	6,000	0	500 円×12 ヶ月
印刷製本費	8,000	10,000	△2,000	コピー利用料
賃金	50,470	51,600	△1,130	7,210 円×7 日
事務諸経費	2,400	4,800	△2,400	200 円×12 ヶ月
雑費	5,000	5,000	0	その他雑費 5,000 円
当期支出合計(C)	244,170	261,540	△17,370	
当期収支差額 (A)-(C)	△49,120	△61,490	12,370	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	225,884	169,263	56,621	



※1 参照 (特別事業費)

会議費	56,000	2,000 円×20 人×1 回 800 円×15 人×1 回 100 円×40 人×1 回	印刷製本費	2,640	4 円×33 人×20 枚(コピー)
会場費	23,000	総会、研修会	通信運搬費	13,200	80 円×33 人×5 回(通知)
旅費	10,000	研修会講師	材料費	20,000	20,000 円×1 回(食材)
謝金	18,000	研修会講師			